

専 門 教 養
令和 3 年 7 月
60 分

受 験 教 科 等
特別支援学校中・高 国 語

## 注 意

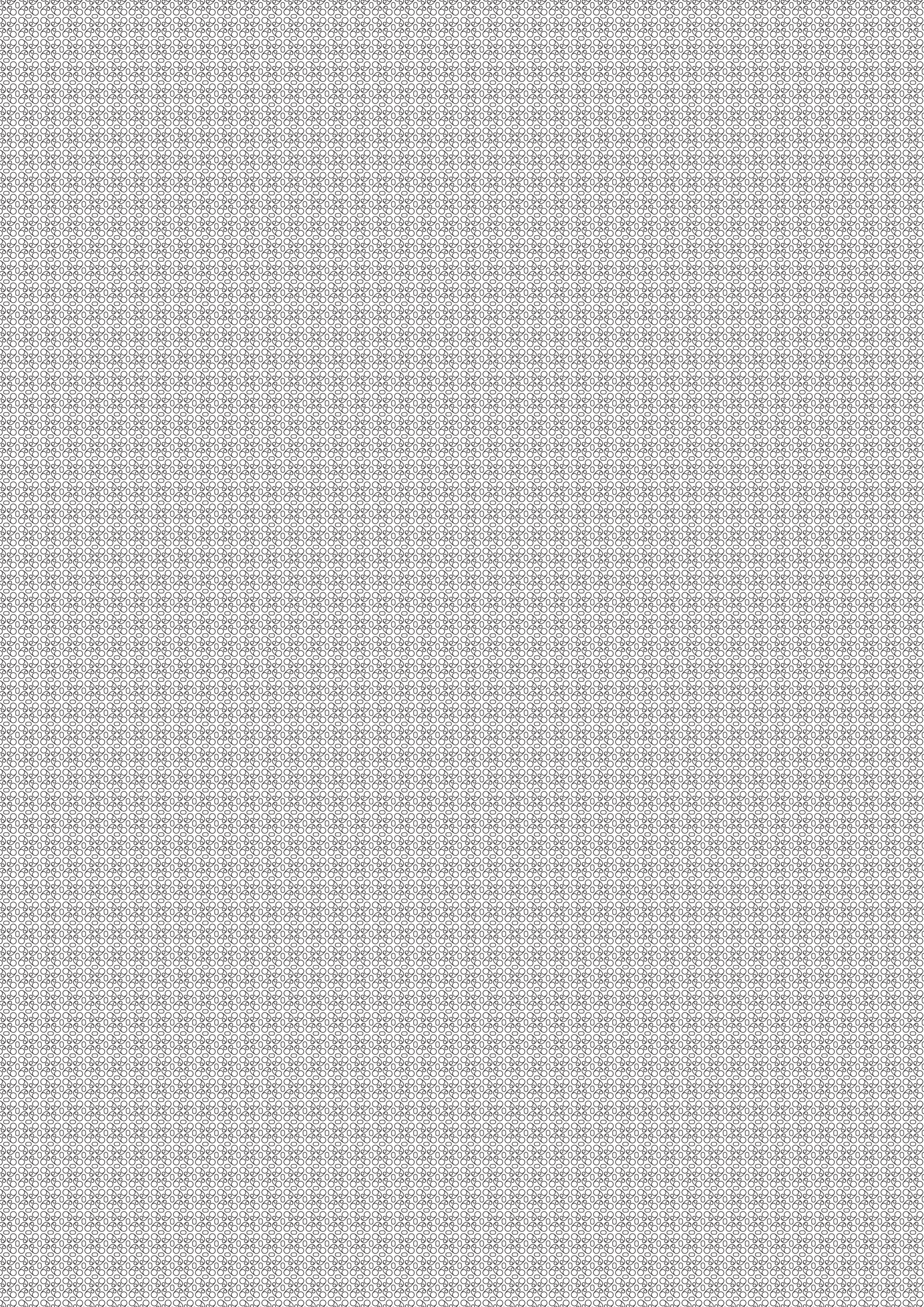
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、28ページです。はじめにページ数を確認してください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** 一 ~ 四、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IV の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

## 解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は  。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例)のように解答番号  の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解答欄
<input type="text" value="1"/>	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖



「※」のついた部分は、掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

## 教科等に関する問題

一 次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

（佐藤直樹『創発の生命学 生命が1ギガバイトから抜け出すための30章』から作成）

問1 傍線部(ア)・(イ)のカタカナを漢字に直したとき、その漢字と組み合わせ

わせて二字熟語になるものは、次の各群の1～4のうちのどれか。

解答番号は(ア)が 、(イ)が 。

(ア) イン | トン

1 影  
2 政  
3 忍  
4 縁

(イ) デン | カ

1 負  
2 聞  
3 拳  
4 絶

問2 傍線部(1)「

\*

」とあるが、

その具体的な事例として最も適切なものは、次の1～4のうちでは  
どれか。解答番号は 。

1 エネルギーが流入する一方で、代謝により身体が衰えてしまう  
生物や人間のはかなさを表している。

2 川の流れによって消えてもまた生じる泡のように、次世代を作  
る生物や人間の強さを表している。

3 生物や人間に共通の生命システムを取り上げ、鴨長明の考えを  
科学的に証明できる驚きを表している。

4 外部からの力を取り入れ続けることで、生命を維持できるとい  
う生物や人間の有様を表している。

問3 傍線部(2)「

\*

」とあるが、「 \* 」及び「 \* 」

の説明として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解

答番号は 4。

1 どちらの構造も組織化の際にエネルギーを必要とするが、動的な構造はエネルギーの流入が常に必要なので静的な構造と比べて不安定である。

2 静的な構造はエネルギーが非常に安定した構造で駆動力が最小であるが、動的な構造は空間に固定される時にエネルギーが最大になる。

3 動的な構造は秩序を保つために自由エネルギーを必要とするが、静的な構造は内部の力が安定しているため自発的に形成されることはない。

4 二つの構造は内部エネルギーが最小になっているので、必要な物質を空間に留めることで人工的に再現できる安定的な構造になっている。

問4

VI 段落の役割について説明したものとして最も適切なものは、

次の1～4のうちではどれか。解答番号は 5。

1 直前の段落で確認した具体的な内容を受け、VI 段落では、抽象的に言い換え、主張をまとめている。

2 直前の段落で確認した一般論に続けて、VI 段落では、新たな観点を導入し、主張を転換している。

3 直前の段落で述べた事象の説明を踏まえて、VI 段落では、鴨長明の文章に触れて、論に多彩な展開をもたせている。

4 直前の段落で提示した具体的な事柄に対し、VI 段落では、内容を整理し、新しい論につなげている。

\*

「とあるが、その理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 6。」

1 『方丈記』の冒頭は世の移り変わりだけではなく、川の上流部がもつ位置エネルギーによって、流れる水が作り上げる川の構造を表していると考えられるから。

2 『方丈記』の冒頭は無常だけではなく、川が太陽のエネルギーを起点に自己組織化現象を起こして動的な構造を維持し、形成され続けていることを表していると考えられるから。

3 『方丈記』の冒頭は生命の真理だけではなく、海水が太陽のエネルギーによって蒸発し上昇気流を作り、雲を生じ降雨となり川に流れ込むまでの経過を表していると考えられるから。

4 『方丈記』の冒頭は世のはかなさだけではなく、水が駆動力で自己組織化現象を起こし、地面のくぼみを作って川を完成させるまでの過程を表していると考えられるから。



次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

江戸の長崎屋には、蘭学に志のある杉田玄白、前野良沢らが毎日のように押しかけていた。玄白は、日頃一座に対して高飛車な、見下したような態度を取っている良沢に対して、軽い反感の心を抱いていた。

ある日、玄白ら有志は、蘭書ターヘルアナトミア中の絵図が、実際の人間の内臓と寸分の違いもないことに、深く感嘆した。玄白、良沢ら四人は、協力してターヘルアナトミア一卷全て翻訳することを決意した。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

---

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

(菊池寛『蘭学事始』から作成)

問1 傍線部(1)

\*

「とはどういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

7。

1 ターヘルアナトミアに書かれている阿蘭陀文字は、蘭語をまだ学んでいない玄白らにとってどのように読めばよいのか分からないもので、一頁分の蘭語を解釈するのも到底不可能であったということ。

2 ターヘルアナトミアを四人で翻訳するに際し、玄白らにとって頼りになるのは留学経験のある良沢であったが、期待したほどの知識が良沢にはなく玄白らがただただ呆気にとられていたということ。

3 ターヘルアナトミアに記されている蘭語は、玄白らにとって意味の分からない言葉の羅列で理解できず、この後どのように翻訳の作業をしていけばよいか想像もつかなくなっていたということ。

4 ターヘルアナトミア中の人体内部の絵図を見て、実際の人間の内臓と変わらないことに感激する一方で、記されている人体の構造への洞察があまりにも深遠で理解の範疇を超えていたということ。

問2 傍線部(2)

\*

「とはどういうことかを説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は

8。

1 四人が蘭語の文章の翻訳を進めていく中で、それまでの日本人では訳すことができなかった難解な言葉に接しても容易にその語意をつかむことができるようになって、蘭語を日本語に訳すこと自体の楽しみが強くなっていったということ。

2 四人が蘭語の文章の翻訳を進めていく中で、それまでの日本人が達し得なかった境地に立てたことに愉悦を覚えることが度重なり、先を読み進め新たな知見を得たいという欲求が徐々に強くなっていったということ。

3 四人が蘭語の文章の翻訳を進めていく中で、当時の日本人の知り得なかった医療の最先端に自分たちだけが達しているという専有的な意識が芽ばえ、蘭語を訳す機会が増えることにその意識が強くなっていったということ。

4 四人が蘭語の文章の翻訳を進めていく中で、当時の日本人の理解を超えた学問や技術を学ぶことで、背景にある西洋の文明や文化を学ぶために一刻も早く海外に留学したいという意欲が強くなっていったということ。

問3 傍線部(3)

\*

「とあるが、この表現について説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 9。

1 蘭語の書物が数限りなくあることを「 \* 「状態にたとえ、そのうち実用的な書はターヘルアナトミア一冊のみであることを「 \* 「にたとえている。

2 蘭学が日本人にとって未開の領域であることを「 \* 「状態にたとえ、医療の現場で患者一人一人に治療を行うことを「 \* 「にたとえている。

3 蘭学が漢学のように、長い時間をかけて大成することを「 \* 「状態にたとえ、医療に役立つ蘭書一書を訳すことを「 \* 「にたとえている。

4 蘭学全般が完成するまで徐々に発展することを「 \* 「状態にたとえ、大した時間もかからずに一世代で完成することを「 \* 「にたとえている。

問4 傍線部(4)

\*

「とあるが、このときの「 \* 」の心情を説明したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 10。

1 学問の成果を世に知らせることよりも真理を追究することを優先する良沢の高潔な態度は尊敬に値するとは思うものの、治療に役立つことは世の中ですぐ広めるべきだという自分の態度も肯定されるべきだと思っている。

2 太宰府天満宮で立てた誓いを守り自ら携わった解体新書の序文すら書こうとしない良沢の信心深い態度は尊敬に値するとは思うものの、自身の名が広く世に伝わるように自分一人の名で上梓するという自分の態度も肯定されるべきだと思っている。

3 名声や利益を得ることに関して興味をもたない良沢の孤高な態度は尊敬に値するとは思うものの、後代の批判を免れるために、良沢に序文を書かせ、その権威を利用しようとする自分の態度も肯定されるべきだと思っている。

4 学問の大成のために一語もおろそかにせず蘭語の正確な翻訳を貫く良沢の勤勉な態度は尊敬に値するとは思うものの、医師の普及のために軽微な誤りなどは無視してでも早く翻訳を世に出そうとする自分の態度も肯定されるべきだと思っている。

問5 傍線部(5)「 \* 」とあるが、このように「 \*

一が主張する理由を説明したものととして最も適切なものは、次の1〜4のうちではどれか。解答番号は 11 。

1 玄白は、大まかな性格である自分が難解な蘭書であるターヘルアナトミアを一人で翻訳し蘭学興隆のきっかけを作ることができたのは、運の良さによるところが大きいと考えたから。

2 玄白は、自らの晩年に至って蘭学興隆という大願がようやく成就したのは、後世の人々から受ける批判を気にしない自分の豪胆な性格によるところが大きいと考えたから。

3 玄白は、蘭学の草創期に毎日のように蘭書の翻訳に取り組み人体内部の構造が全て明らかになったことによって、すぐに蘭学興隆までの道が開けたと考えたから。

4 玄白は、様々な考えや能力をもった人が蘭学という学問の下に集い個々が能力を発揮することによって、蘭学興隆の端緒が開かれ今に至っていると考えたから。

三

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

〔蜻蛉日記〕「新編日本古典文学全集」から作成



問1 傍線部(1) 「」について説明したものは

として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **12**。

- 1 一日には思い人が家の前を素通りしたことに落胆していたが、翌日普段と変わらぬ様子で現れたので、昨日の訪問を期待していたことを悟られぬよう無関心を装って手紙を書いたということ。
- 2 元日の訪問を期待して待っていたのに、門前を素通りした上に悪びれもせず言い訳を述べた思い人に対し、返事をする気も萎えしたが、侍女から諫められたので拗ねた手紙を書いたということ。
- 3 先払いの声夕方聞こえたため、思い人が来ることに胸を躍らせていたが、待っても現れないので、火急の問題が起こったと心配した侍女に急かされて、安否を気遣う歌を書いたということ。
- 4 年の初めは訪れないことが常であったのに、家の前で声が聞こえたため、身なりを整えていたが、来訪しなかった思い人に愛想を尽かしたため、そっけない歌を書いたということ。

問2 傍線部(2) 「」について説明したものは

として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は **13**。

- 1 家のすぐ近くで行われている毎年恒例の宴に思い人が出席しているため、今夜こそは寄ってくるのではないかと思いい、様子をうかがいつつ待ってみようと胸の内では思っているということ。
- 2 宴の前に悪口を言い立てられたことに胸を痛めたため、次の宴までに思い人に会いたいと申し上げたが、忙しい思い人が来てくれるかどうかを思うと不安で胸が潰れそうだとということ。
- 3 自分の屋敷に近い場所で行われる宴に出席している思い人に、悪口を書き並べた手紙を送り、その反応を見ることが自分への愛情の深さを試してみようと心密かに思っているということ。
- 4 これまで数回あった宴の帰り道にも思い人は我が家を訪れていないので、今夜も宴で騒いでいる声が家の近くで聞こえても、訪問はないのだろうと一人静かに悲しんでいるということ。



問3 傍線部(3)「

\*

」とあるが、「」の理由を説明

したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。

解答番号は 14。

- 1 既に思い人への愛情が薄らいでいることを自嘲気味に自覚していたが、寝所においてさえ自分に対して裏表のない愛情を向けてくる思い人に対して、後ろめたい居心地の悪さを感じたから。
- 2 二人の関係にすれ違いが続いたために、ここ最近考えていた別離の話をもちかけたが、話をはぐらかしながら、優しく接することで機嫌を取ろうとする思い人の様子にあきれてしまったから。
- 3 何食わぬ顔で訪れたことを忌々しく思い、これまで我慢してきた長い月日の辛さを語ったが、一言の返事もせず、寝たふりをしながら聞き流そうとした思い人に愛情の薄さを感じ取ったから。
- 4 忙しさを理由に来訪しなかったことに対して不満をあらわにしたが、驚きつつも真摯に傾聴し、申し訳なさそうな笑顔を返した思い人を見て自身の嫉妬が些細なことだと思いついたから。

問4 傍線部(4)「

\*

」について解釈したものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 15。

- 1 思い人のための筵には塵が積もり、たとえ敷き直しても、他の女の所へ通うあの人はもう訪れまいという失望から、筵を永遠に取り去ってしまおうという筆者の覚悟を表現した和歌である。
- 2 塵だけが覆い積もる筵を見ていると、かつての美しい思い出が溢れてくるが、思い人からの愛情が絶えた今となっては、筵が朽ちてゆくのも仕方ないという筆者の諦念を表現した和歌である。
- 3 払った筵の上に舞う塵の儂さが、辛い恋に身を焦がす自身の境遇と重なり、このような思いに苛まれるならば、いっそ世間との縁を絶ち出家したいという筆者の宿願を表現した和歌である。
- 4 筵の塵を払ったとしても、そこに座るはずの思い人の訪れはなく、待つ身の悲しさからくるやりきれなさは、筵に積もった塵の数にも及ばないだろうという筆者の悲愁を表現した和歌である。

問5 二重傍線部A～Fのうち、形容動詞の活用語尾の組合せとして最も適切なものは、次の1～6のうちではどれか。解答番号は 

16
----

。

- 1 AとC
- 2 BとC
- 3 BとE
- 4 CとD
- 5 DとE
- 6 DとF

## 四

次の文章を読んで、後の各問に答えよ。（設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。）

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

〔『韓非子』「新釈漢文大系」から作成〕

問1 傍線部(1)について、次の①、②の各問に答えよ。

- ① 傍線部(1) 「 \* 」を「われそをも  
つてかんぼうをたすけてこれをしんにしやうとせむとほつす、  
かならむかと。」と読むとき、これに返り点を付したものと  
最も適切なものは、次の1〜4のうちではどれか。解答番号は  
17。

4 3 2 1  
掲載許可が得られていませんので、掲載いたしません。

② 傍線部(1)の内容を説明したものとして最も適切なものは、次の

1～4のうちではどれか。解答番号は 18。

- 1 楚王は、楚が甘茂を養うことで、秦との友好関係を築くことを期待しているということ。
- 2 楚王は、楚が甘茂を助けることで、秦の宰相に就かせることを企図しているということ。
- 3 楚王は、甘茂を楚の宰相に迎えることで、統治を助けることを画策しているということ。
- 4 楚王は、甘茂が秦の計略を助けることで、楚が衰退することを懸念しているということ。

問2 傍線部(2)「\*」と「\*」が考える理由として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 19。

- 1 甘茂は、苛烈で無慈悲なことでは有名な史擧から少しの悪も見逃さない厳格さを学び、やがて、明察な恵王や弁舌巧みな張儀の下で、不正をはたっていた官僚十人を一掃したから。
- 2 甘茂は、史擧に師事しながら城門の番人をしていたが、やがて、厳格な仕事ぶりから名君の恵王や中傷好きの張儀に召し抱えられ、官職を転々とする中で、失敗をしなかったから。
- 3 甘茂は、意地の悪いことで評判の史擧に師事しながらよく忍耐し、その後、明朗な恵王や多弁な張儀に仕え、長い官職経験の中で誤りもあつたが、その人柄により許されたから。
- 4 甘茂は、口やかましく厳しいことで有名な史擧に師事し、気に入られ、その後、聡明な恵王や雄弁な張儀に仕え、多くの官職を歴任している間、咎められることはなかったから。

## 特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 「特別支援教育の推進について (通知)」(文部科学省 平成19年 4月 1日) に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は  。

- ア** 特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持つ力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものである。
- イ** 障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒との交流及び共同学習について、各学校においては、双方の幼児児童生徒の教育的ニーズに対応した内容・方法を十分検討し、早期から組織的、計画的、継続的に実施することなど、一層の効果的な実施に向けた取組を推進する。
- ウ** 特別支援学校においては、地域における特別支援教育のセンターとしての機能の充実を図り、地域の各学校等の要請に応じて、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒のための個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成及びその内容を踏まえた幼児児童生徒への直接の指導を行う。
- エ** 各学校においては、特別支援学校での勤務経験のある者の中から校長が指名した特別支援教育コーディネーターが、全校的な支援体制を確立し、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒の実態把握や支援方策の検討を行うための校内委員会を設置する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 2] 就学に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、学校教育法施行令に照らして、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 21。

**ア** 都道府県の教育委員会は、就学予定者のうち、その者の障害の状態に照らして、区市町村の設置する小学校又は中学校において適切な教育を受けることができる特別の事情があるものと認める者について、その保護者に対し、翌学年の初めから二月前までに、小学校、中学校又は義務教育学校の入学期日を通知しなければならない。

**イ** 特別支援学校に在学する学齢児童又は学齢生徒でその障害の状態、その者の教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制の整備の状況その他の事情の変化により、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する区市町村の設置する小学校、中学校又は義務教育学校に就学することが適当であると思料するもの（視覚障害者でなくなった者を除く。）があるときは、当該学齢児童又は学齢生徒の在学する特別支援学校の校長は、速やかに、当該学齢児童又は学齢生徒の住所の存する都道府県の教育委員会に対し、その旨を通知しなければならない。

**ウ** 都道府県の教育委員会は、当該都道府県の設置する特別支援学校が2校以上ある場合においては、区域外就学等の届出の通知を受けた児童生徒等を除き、特別支援学校への就学についての通知を受けた児童生徒等を就学させるべき特別支援学校を指定しなければならない。

**エ** 区市町村の教育委員会は、児童生徒等のうち視覚障害者等について、小学校、中学校又は特別支援学校への就学又は転学に係る通知をしようとするときは、教育学、医学、心理学その他の障害のある児童生徒等の就学に関する専門的知識を有する者の意見を当該児童生徒等の保護者の意見に優先して聴かななければならない。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



[問 3] 特別支援教育に関連する法令の内容に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 

22
----

。

**ア** 「学校教育法施行規則」では、特別支援学校の小学部又は中学部の1学級の児童又は生徒の数は、法令に特別の定めのある場合を除き、視覚障害者又は聴覚障害者である児童又は生徒に対する教育を行う学級にあつては15人以下を標準とするとされている。

**イ** 「障害者基本法」では、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策に関し、基本原則を定め、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的としている。

**ウ** 「発達障害者支援法」では、国及び地方公共団体は、発達障害のある児童生徒が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育や必要な支援を受けられるようにするため、発達障害のある児童生徒のみを対象とした教育を受けられるよう特別支援学校の体制を整備するなど、必要な措置を講じるものとしている。

**エ** 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」では、国、都道府県、区市町村などの行政機関や、会社や店などの事業者が、障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として差別することを禁止しており、ボランティア活動をするグループなども事業者として捉えている。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

**Ⅱ**

学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援学校高等部学習指導要領総則の「教育課程の編成」に関する次の記述**ア～エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1～6**のうちのどれか。解答番号は  。

**ア** 教育課程の編成に当たっては、学校教育全体、各教科・科目等及び各教科等において、それぞれの指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。

**イ** 各学校においては、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科・科目等又は各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

**ウ** 肢体不自由者又は病弱者である生徒に対する教育を行う特別支援学校にあっては、主として専門学科において開設される、印刷やクリーニングなどの各教科・科目及び設置者の定めるそれぞれの標準単位数を踏まえ、生徒に履修させる各教科・科目及びその単位数について適切に定めるものとする。

**エ** 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校にあっては、各教科等の総授業時数は、各学年とも1,015単位時間を標準とし、特に必要がある場合には、これを増加することができる。この場合、各教科等の目標及び内容を考慮し、各教科及び総合的な探究の時間の配当学年及び当該学年における授業時数、道徳科、特別活動及び自立活動の各学年における授業時数を適切に定めるものとする。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ



[問 2] 特別支援学校高等部学習指導要領総則の「教育課程の編成」の「教育課程の編成における共通的事項」の「キャリア教育及び職業教育に関して配慮すべき事項」に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の1～6のうちどれか。解答番号は  。

**ア** 職業に関する各教科・科目については、就業体験活動をもって実習に替えることができること。この場合、就業体験活動は、その各教科・科目の内容に直接関係がなくても、あらかじめ計画し、評価されるものであることを要すること。

**イ** 普通科においては、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等、学校や地域の実態等を考慮し、必要に応じて、適切な職業に関する各教科・科目の履修の機会の確保について配慮するものとする。

**ウ** 職業教育を主とする専門学科においては、生徒の実態を考慮し、職業に関する各教科・科目の履修を容易にするため特別な配慮が必要な場合には、各分野における基礎的又は中核的な科目を重点的に選択し、その内容については基礎的・基本的な事項が確実に身に付くように取り扱い、また、主として実験・実習によって指導するなどの工夫をこらすようにすること。

**エ** 職業に関する各教科・科目については、工業、家庭及び情報に関する各教科・科目の指導に当たっては、ホームプロジェクトなどの活動を活用して、学習の効果を上げるよう留意すること。この場合、ホームプロジェクトについては、適切な授業時数をこれに充てることができること。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

Ⅲ

次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは知的障害特別支援学校中学部第1学年に在籍する知的障害と自閉症のある生徒である。

生徒Aの様子

- ・ 手指の巧緻性が高く、創作活動が好きである。
- ・ ①創作活動に取り組んでいると、教員の指示があってもやめることができず、作り続けることがしばしばある。
- ・ 活動の見通しがもてないときや困ったことがあったときに、気持ちを伝えることが難しい。
- ・ 安心できる担任には、「できました」など言葉での報告ができるときがある。
- ・ ②要求がかなわないときや、嫌いな音がするなどの不快なことがあったときに、大きな声を出したり、人やものなどをたたこうとしたりするなどの行動が見られる。
- ・ 一斉指導や音声による指示は、理解できないことがしばしばある。
- ・ 周りの動きに合わせて行動しているが、1日の細かいスケジュール等を理解することは難しい。

(「知的障害特別支援学校の教育課程の充実に向けて」(東京都教育委員会 平成29年3月) から作成)

[問 1] 下線部①について、次の記述ア～エのうち、「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

- ア 興味や関心のある活動中に教員が「楽しいね」、「うれしいね」などと言葉をかけて、人とやり取りすることや通じ合う楽しさを感じられるようにする。
- イ 活動に固執し切り換えるのが難しいのは、自分にとって快適な刺激を得るためなので、毅然と対応してやめさせる。
- ウ 活動に固執してやめられないときには、「もう少し」、「そのくらい」など、意味内容に幅のある言葉で、やめるタイミングを示す。
- エ 固執してしまう活動では、あらかじめ活動する時間を決めておき、タイマーを使って残り時間が視覚的にわかるようにする。

- |   |     |   |     |   |     |
|---|-----|---|-----|---|-----|
| 1 | ア・イ | 2 | ア・ウ | 3 | ア・エ |
| 4 | イ・ウ | 5 | イ・エ | 6 | ウ・エ |

[問 2] 下線部②について、次の記述**ア**～**エ**のうち、「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 嫌いな音に反応したときは、ノイズキャンセルヘッドホン等を使用して音量を調整する。
- イ** 生徒Aにとって苦手な音は、他の生徒にとっても一律に不快なので、音を除去する。
- ウ** 不快な気持ちを伝えられるように、感情を表した絵カードを使用する。
- エ** その場で初めて経験する新しい活動を用意し、取り組めるようにする。

- 1** ア・イ
- 2** ア・ウ
- 3** ア・エ
- 4** イ・ウ
- 5** イ・エ
- 6** ウ・エ

[問 3] 生徒Aに対して、指導目標を「いろいろな教員に対して作業が完了したら『できました』と伝えられるようになる。」と設定した。次の記述**ア**～**エ**のうち、この目標を達成するために「生徒Aの様子」や障害の特性等を踏まえた支援として、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の**1**～**6**のうちではどれか。解答番号は 。

- ア** 話す人の方向を見て報告することは、障害の特性上困難なので指導しない。
- イ** 日頃関わりのない多くの教員とのやり取り場面を設定する。
- ウ** 日常的に報告の場面を作ったり、自分の気持ちを言葉で表現する経験を重ねたりすることで、相談することのよさが実感できるようにする。
- エ** 人と協力して遂行するゲーム等をして、適切な関わりができるようにする。

- 1** ア・イ
- 2** ア・ウ
- 3** ア・エ
- 4** イ・ウ
- 5** イ・エ
- 6** ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害の眼疾患の一つである網膜色素変性症に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 視神経乳頭、視野に特徴的变化を示し、通常、眼圧を十分に下げることにより視神経障害の改善あるいは進行の阻止が可能な、眼の機能的構造的異常を特徴とする疾患である。眼球破裂の危険性があり、防御眼鏡の装着を検討することも必要である。
- 2 未熟児に生後まもなく発症する可能性のある網膜の異常であり、視力や視野は正常な人から全盲の人まで個人差がある疾患である。屈折異常の矯正、網膜剥離の予防などへの対応が必要である。
- 3 乳幼児の網膜に発生する悪性腫瘍で、腫瘍が大きくなると光で反射して瞳孔が光る疾患である。二次腫瘍発生の可能性があり、生涯にわたり経過観察が必要である。
- 4 網膜桿体の機能低下が生じた状態で、暗い所が見えにくい夜盲や周辺が見えない視野狭窄が生じていく疾患である。多くは進行性であり、そのため心理的ケアが必要である。

[問 2] 聴覚障害の起因疾患とその特徴に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 耳硬化症は、骨の異常増殖によりツチ骨が固着することを原因とし、進行性難聴や耳鳴の症状を特徴とする両側性の疾患である。
- 2 滲出性中耳炎は、耳管機能が不良となり中耳腔に滲出液が貯留することを原因とし、軽度の難聴や低音性の耳鳴、耳閉塞感の症状を特徴とする疾患である。
- 3 メニエール病は、回転性のめまいや難聴、耳鳴の症状が反復消長することを特徴とし、一側性より両側性の症例が多い疾患である。
- 4 音響外傷は、騒音職場などで長期間就労していることを原因とし、徐々に聴力が低下していく症状を特徴とする慢性発症型の難聴である。

[問 3] 肢体不自由児の知的機能の発達の検査に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は  。

- 1 言語障害や上肢の障害による表出手段の著しい困難などのために、妥当性の高い検査値を求めることができない場合があるので、検査目的を明確にするとともに、その結果を弾力的に解釈できるような工夫を行って実施する必要がある。
- 2 標準化された知能検査を行う場合には、時間制限があったり、運動速度を必要としたりする個別式知能検査のみではなく、子供が持っている力を十分に発揮させるために検査者との関係性を大切にしながら集団式知能検査を併用して実施する必要がある。
- 3 運動・動作の障害や言語障害などがある子供に対する配慮が十分になされていない検査があるため、知能検査を厳密に行うと目と手の協応、運動速度、言語などを必要とする検査項目の成績が高く現れることに留意して実施する必要がある。
- 4 知能検査を実施する場合には、問題内容の変更や音声出力装置などの代替表現の工夫、障害の状態や程度を考慮した検査時間の延長などを行うことで、子供に合わせて実施する必要がある。

[問 4] 知的障害の起因疾患とその特徴に関する次の記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして最も適切なものは、下の1～6のうちではどれか。解答番号は  。

- ア** プラダー・ウィリー症候群は、アミノ酸の代謝異常を原因とし、低緊張、過食とそれによる肥満、小さい手足などを特徴とする疾患である。
- イ** ダウン症候群は、21番染色体の過剰を原因とし、低緊張、先天性心疾患、低身長などを伴う疾患である。
- ウ** レット症候群は、女兒に多くみられ、視線回避、上肢の常同運動、小頭症などを特徴とする疾患である。
- エ** フェニルケトン尿症は、15番染色体の異常を原因とし、わずかな発語、発作的な笑い、失調性歩行などを特徴とする疾患である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 5] 「教育支援資料～障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実～」(文部科学省 平成25年10月)の「V 病弱・身体虚弱」に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 32。

**ア** 病弱とは、病気ではないが身体が不調な状態が続く、病気にかかりやすいといった状態を表している。また、身体虚弱とは心身の病気のため弱っている状態を表している。これらの用語は、このような状態が継続して起こる、又は繰り返して起こる場合に用いられる。

**イ** 病弱教育では、病気の自己管理能力を育成することは重要な指導事項の一つである。そのため、病弱児にとって必要な生活規制とは、他人からの規制ではなく「生活の自己管理」と考えて取り組むことが大切である。

**ウ** 白血病は、血液の製造所である骨髄で異常な未熟白血球が増殖し、その浸潤により、正常造血機能の抑制を来す病気である。急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病など多くの種類があり、子供には急性リンパ性白血病が多い。

**エ** 気管支喘息は、気道の慢性的な炎症によって反応性が低くなり、種々の刺激により気管支平滑筋の弛緩、粘膜の腫れなどを来し、発作性に咳や喘鳴を伴う呼吸困難を繰り返す疾患である。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

